

2023年11月7日

各 位

会社名 平安レイサーサービス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山田 朗弘
 (STANDARD コード番号：2344)
 問合せ先 取締役管理本部長 土屋 浩彦
 (TEL0463-34-2771)

**固定資産の減損損失計上及び
 2024年3月期第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、2024年3月期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）において、以下のとおり減損損失を計上することとしました。そのため、2023年5月8日に公表した2024年3月期第2四半期（累計）業績予想と本日公表の実績に差異が生じますので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 減損損失（特別損失）の計上

当社グループは事業の種類別に営業用店舗を独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位とし、かつ同一地域内において商圈の重複によりキャッシュ・フローが相互補完的關係となる店舗群を、一つの資産グループとみなしております。

東京都町田市と神奈川県相模原市を同一エリアとした資産グループは当社の新規拡大エリアであり、出店によるシェア拡大を計画しておりましたが、施設開業期に新型コロナウイルス感染症の蔓延、および長期化により開業後も十分な周知活動が行えなかったことで葬儀施行件数が計画より低迷致しました。

その結果、上記資産グループにおいて店舗損益の継続的な悪化が生じたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失 234 百万円として 2024 年 3 月期第 2 四半期連結決算にて特別損失に計上致します。

2. 業績予想と実績との差異

2024年3月期 第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異（2023年4月1日～2023年9月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------------------------|-------|------|------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 4,698 | 629 | 690 | 451 | 37.08 |
| 今回実績（B） | 4,653 | 600 | 670 | 280 | 23.03 |
| 増減額（B－A） | △44 | △28 | △20 | △170 | |
| 増減率（％） | △1.0 | △4.5 | △3.0 | △37.9 | |
| 【ご参考】前年同期実績 2023年3月期第2四半期累計 | 4,585 | 611 | 677 | 435 | 35.62 |

2024年3月期 第2四半期（累計）個別業績予想と実績との差異（2023年4月1日～2023年9月30日）

| | 売上高 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------------------------|--------------|------------|------------|-----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 4,022 | 百万円 706 | 百万円 490 | 円 銭 40.29 |
| 今回実績（B） | 3,984 | 629 | 291 | 23.98 |
| 増減額（B－A） | △38 | △76 | △198 | |
| 増減率（％） | △0.9 | △10.8 | △40.5 | |
| 【ご参考】前年同期実績 2023年3月期第2四半期累計 | 3,922 | 702 | 487 | 39.88 |

3. 修正の理由

葬祭事業において、当第2四半期連結累計期間における当社主要エリアでの死亡人口増減率減少の影響を受け、葬儀施行件数が計画より低迷したことに加え、賃金引上げと物価上昇の影響により売上高、営業利益、経常利益は業績予想数値に対し減少となる見込みであります。また、上記資産グループの減損損失を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は業績予想数値に対し減少となる見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、下期の見通しに不透明な部分があるので現時点では据え置きとさせていただきます。

※上記予想は、発表日現在において入手可能な情報により作成しており、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上